

慶南青年カレッジ2008

構成員		代表者	松尾龍哉 (工2年)	
	谷口和博 (工2年)		中村あゆみ (経2年)	一ノ瀬涼子 (教2年)
	太田奈央 (教2年)		倉富剛 (工2年)	桑野麻衣 (経2年)
	下村あかり (教2年)		末岡英明 (経2年)	檜垣沙也子 (経2年)
	布寺弘幸 (工2年)			

1. プロジェクトの目的

山大生と韓国の学生を中心に、様々な活動を通じて相互交流を行う。両国の違いを認識できる活動を学生達自身が企画し、共に経験することで相互理解交流を目指す。今回このプロジェクトでは日韓学生交流だけでなく、活動の一環として地域社会との交流と貢献を目的とする。

2. プロジェクトの内容

日韓の学生がそれぞれお互いの国で交流イベントを催し相互理解を図る。この日韓学生交流イベントの名前を「アジアカレッジ」と称す。夏(8月)に日本で行うものを「夏アジ」、秋(10月)に韓国で行うものを「秋アジ」、冬(2月)に(今年は韓国にて)行うものを「OB会」とし、以下の日程で準備・運営等を行う。

※「OB会」とは、参加年度に関係無く参加できる交流イベントである。

<2月~4月>

- ・日本側の運営スタッフ・代表者(学生)の決定
- ・おもしろプロジェクトへの申請
- ・夏アジの計画

4月29日~5月4日

- ・今年度の韓国側参加者の勧誘のため韓国へ
- ・昌原大学・慶南大学・仁済大学・蔚山大学で「アジアカレッジ」のプレゼンの実施

<5月~6月>

- ・韓国側の代表者の決定
- ・参加者の勧誘

<7月>

19日・20日

- ・韓国側リーダー・副リーダーの来日
- ・日韓リーダー・スタッフ同士で話し合い・下見の実施

21日

- ・日韓の学生で、長門市青海島のくじら祭りに参加(代表者同士を親密にし、地域との交流を図るため)
- ・くじら祭り後、漁師宅にホームステイ

※くじら祭りでは、和船競争、古式捕鯨の実演体験、韓国食品の販売を行った。古式捕鯨の実演体験では、日韓学生の男性陣が参加した。古式捕鯨のルールに則り、全員が赤ふんどしを締めて捕鯨(鯨の模型)に挑んだ。

22日

- ・韓国側代表者の帰国

23日～31日

- ・引き続き「夏アジ」の準備
- ・参加者の決定

<8月>

1日～18日

- ・日程・予約・参加者等の最終確認・準備

19日～27日 (夏アジ)

- 19日 : 下関で韓国側参加者を迎えた後、美祢市の桂岩ふれあいセンターへ。餅つき・そば打ちを体験
- 20日 : 朝、桂岩ふれあいセンターで流しそうめん体験後、広島へ。平和資料館で平和学習・語り部さんによる被爆体験の話、宿泊先での平和ディスカッション(平和や日韓について意見交換をする)
- 21日 : 岩国市へ。岩国寿司体験、錦帯橋観光後、山口市に戻り、学生宅ホームステイ
- 22日～23日 : 韓国側のみ一般宅ホームステイ
- 24日 : 婦人会館(カリエンテ山口)にて料理交流会。料理交流会では互いの国の馴染み深い料理を作る
- 25日 : 韓国の蔚山と姉妹都市である萩市庁舎へ行き表敬訪問。その後、同市の長寿寺にて宿泊
- 26日 : 長門市の青海島へ。民宿「沖千鳥」のそばで海岸清掃後、地引網漁体験の実施。収穫した魚等でバーベキュー。山口に戻り学生宅ホームステイ
- 27日 : 下関へ出発。昼食・自由行動をとったのち、韓国側帰国。山口に戻り解散

<9月>

- ・夏アジの打ち上げ兼秋アジ説明会の実施
- ・秋アジ参加者の決定

<10月>

3日～9日 (秋アジ)

- 3日 : 下関国際フェリーターミナルを出発。
- 4日 : 釜山港到着後、バスで公州へ移動。夕方から百済文化祭に参加。
- 5日 : 朝、独立記念館へ出発。独立記念館見学後、蔚山へ。
- 6日 : ナザレ園訪問。ナザレ園のおばあちゃんたちと交流。
- 7日 : 昼、釜山へ移動。夜、さよならパーティ。
- 8日 : 釜山市内観光。釜山港出発。
- 9日 : 帰国。

<11月～1月>

- ・来年度の学生スタッフの勧誘・決定等

<2月>

- ・OB会実施